

2019

職員採用案内

KANAGAWA WATER SUPPLY AUTHORITY

申込から採用まで(2019年度実施スケジュール)

種類	受験案内	受験受付	第1次試験	第1次合格	第2次試験	第2次合格	第3次試験	最終合格	意向調査	採用決定	採用
I種	5/7(火)	8/1(木)～9/30(月)	10/27(日)	11/8(金)	11/23(土)又は11/24(日)	12/6(金)	12/15(日)	12/26(木)	1月上旬	1月中旬	4/1(水)
III種		7/1(月)～8/30(金)	10/6(日)	10/11(金)	10/18(金)	—	—	10/23(水)	11月中旬	11月下旬	

※上記日程は予定となっております。必ずホームページ等をご確認ください。

受験資格

I種	平成元(1989)年4月2日から平成10(1998)年4月1日までに生まれた人
III種	平成10(1998)年4月2日から平成14(2002)年4月1日までに生まれた人

試験の内容

第1次試験	筆記試験(択一式)
第2次・第3次試験	人物試験 人柄、性向等についての個別面接試験です。III種は第3次試験はありません。

人物重視の採用を行っています

実施結果

年度	職種	申込者数	採用者数
H28	I種	行政	235
		土木	33
		化学	49
	合計	317	8
H29	I種	行政	204
		土木	18
		建築	7
		設備	16
		水質	61
	合計	306	7
H30	I種	行政	151
		土木	9
		建築	3
		設備	8
		水質	41
		合計	220
	III種	設備	8
		合計	10



50th anniversary

特別地方公共団体
神奈川県内広域水道企業団

かながわ水道の未来を創ろう！



お問い合わせ先

神奈川県内広域水道企業団

総務課 人事・労務係 採用担当
☎045-363-3894 (直通)

〒241-8525 横浜市旭区矢指町1194
E-mail saiyo@kwsa.or.jp
採用情報ホームページアドレス
<https://www.kwsa.or.jp/saiyo/index.html>

平日 8:30～17:15 (土・日・祝日除く)



神奈川県内広域水道企業団からのメッセージ

これまでの50年を、これから50年へ

神奈川県内広域水道企業団(以下、企業団)は、水道用水供給事業を行う特別地方公共団体として、昭和44年に神奈川県・横浜市・川崎市・横須賀市の4構成団体が共同で設立しました。

この間、構成団体と相互に連携・協力し、神奈川県の発展を支えてきましたが、水道事業を取り巻く環境は大きく変化しています。少子高齢化による水需要の減少、切迫性を増す大規模災害への備えなどの課題に対応していかなければなりません。

企業団はこれらの課題を解決し、神奈川県民の皆さまのために「安全で良質な水道水を送り続けるトップレベルの広域水道」へ進化していかなければなりません。

企業団は今年で設立50年を迎えます。この機会に50年を振り返り、変わらぬ安定供給のためにこれからの50年も県民の皆さまの生活を支えていきます。

そのためには、「積極性」「責任感」「誠実さ」を併せ持つ、あなたの力を必要としています。職員一人ひとりが力を合わせ、企業団のいまを支え、新しい企業団へと変えていく。そんな未来を企業団の職員として私たちと一緒に描いてみませんか。

かながわの水道用水供給ビジョン(平成23~32年度)

安全で良質な水道水を送り続けるトップレベルの広域水道へ

企業団では、「安全で良質な水道水を送り続けるトップレベルの広域水道」を将来像として、「かながわの水道用水供給ビジョン」を策定しています。

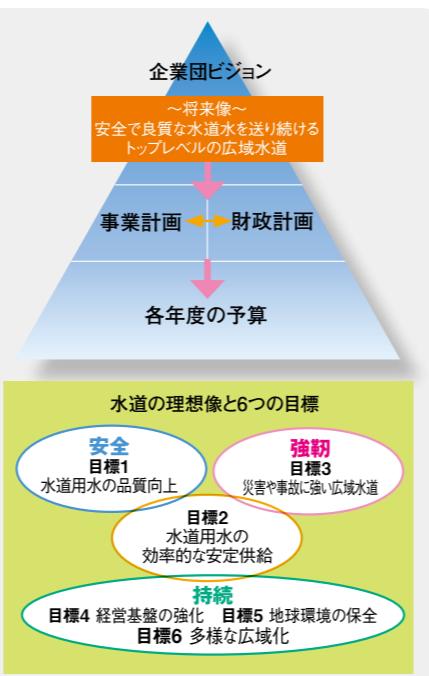
広域的な視点に立ち、将来の県内水道システムを強化充実するために、「安全」「強靭」「持続」を柱とした6つの目標を設定し、さまざまな取組を進めています。

今後の人口減少、それに伴う水需要の減退、企業団を取り巻く社会環境や財政環境は更に厳しさを増す今、「安全」「強靭」「持続」の視点から、企業団の水質管理、施設管理及び財政経営等において、より高いレベルの事業運営を達成、維持していくことがこれまで以上に求められています。

企業団職員の英知を結集した「オール企業団」でビジョンに掲げる6つの目標の達成に向け、私たちとともに働きましょう。



横浜デジタルアーツ専門学校の学生にデザインしていただいた「やまなみの雫」



「安全で良質な水道水を送り続けるトップレベルの広域水道」を実現する6つの目標



水道用水の品質向上



水道用水の効率的な安定供給



災害や事故に強い広域水道



経営基盤の強化



人材育成の充実



魚道の整備



多様な広域化

ピオトープの設置

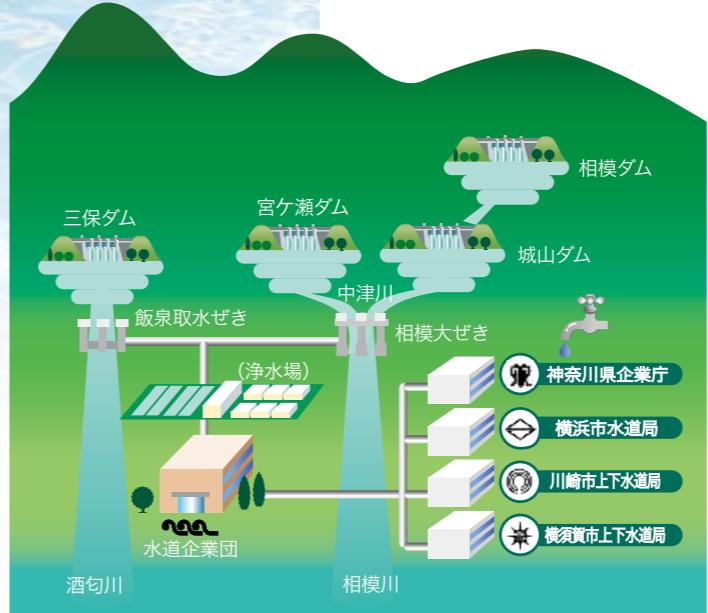
広域水質管理センターの開設

神奈川県内広域水道企業団の概要

神奈川県内広域水道企業団の沿革

昭和44(1969)年	5月	自治大臣の許可により、神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市を構成団体とした神奈川県内広域水道企業団設立
	7月	酒匂川を水源とする創設事業に着手
昭和49(1974)年	4月	神奈川県、横浜市、川崎市へ一部給水を開始
	5月	三保ダム着工
昭和53(1978)年	4月	横須賀市へ一部給水を開始
	7月	三保ダム完成
昭和54(1979)年	4月	創設事業による全量給水開始(1日最大給水量1,454,800立方メートル)
昭和55(1980)年	4月	相模川水系建設事業(第1期)に着手
平成元(1989)年	10月	宮ヶ瀬ダム着工
平成12(2000)年	12月	宮ヶ瀬ダム完成
平成18(2006)年	4月	相模川水系建設事業(第1期)による全量給水開始
平成20(2008)年	12月	相模川水系建設事業(第1期)完了
平成27(2015)年	4月	広域水質管理センター開設

神奈川県内広域水道企業団の事業



神奈川県には中央部を流れる相模川と西部を流れる酒匂川があります。企業団は、相模川と酒匂川の河川水を取水施設から取り入れ(取水)、県内の浄水場で水道水に処理し(浄水)、4構成団体が運営している水道事業を通じて水道利用者まで水道水を届けています。

「水道水専門の
卸メーカー、
なんだよ



教えてウォービー

水道用水供給事業ってなに?

浄水場で処理した水道用水を水道事業者(水道局)に供給する事業のことだよ。

特別地方公共団体ってなに?

地方公共団体のうち、特別な目的のために設けられた団体で、企業団の場合、4構成団体に水道用水を供給するという目的のために設けられているよ。



24時間365日、県民生活と経済活動を支えています。

企業団についてもっと知りたい人は⇒ [神奈川県内広域水道企業団](#)

検索

施設紹介

取水管理事務所

1. 飯泉取水管理事務所(酒匂川)



2. 社家取水管理事務所(相模川)



企業団は、2つの河川から“水道水の原材料”である原水を取り込んでいます。飯泉取水管理事務所は、酒匂川から取水しており、社家取水管理事務所は、相模川から取水しています。

- 神奈川県企業庁
- 横浜市水道局
- 川崎市上下水道局
- 横須賀市上下水道局
- 導水管
- 送水管

7. 広域水質管理センター

社家取水管理事務所と隣接しており、“水道水の品質管理”を行っています。また、神奈川県全体の水源水質管理等も担っています。



8. 水運用センター

河川での取水量、浄水場での処理量、給水量を調整する業務を主に行っています。つまり“水道水の流通管理”を担っているところです。



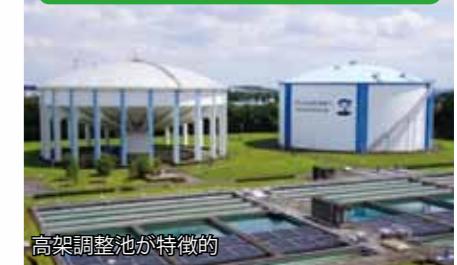
浄水場

企業団は、“水道水の生産工場”である浄水場を4つ持っています。

3. 伊勢原浄水場



4. 相模原浄水場



5. 西長沢浄水場



6. 綾瀬浄水場



9. 三ツ境本庁舎

企業団の本庁舎です。企業団の事業計画、施設更新設計などを行っている部課があります。



神奈川県内広域水道企業団って こんなところ

1 全国トップレベルの事業規模!!

企業団は、給水人口、施設能力ともに全国トップレベルの水道用水供給事業体です。

用水供給事業体名	給水人口(人)	施設能力(m³/日)
神奈川県内広域水道企業団	8,430,124	2,652,400
埼玉県	7,229,361	2,665,000
大阪広域水道企業団	6,157,405	2,330,000
愛知県	5,042,055	1,785,700

(総務省平成28年度 地方公営企業年鑑より)

2 2つの河川の水で水道水を作っています!

企業団

神奈川県／横浜市／川崎市／横須賀市／企業団

相模川水系

酒匂川水系

2つの河川の水で、水道水が作れるのは、神奈川県内で企業団だけ！

神奈川県内で2つの河川から水道水の元となる原水を取水できるのは、企業団だけです！

2つの河川から取水できることで、災害に強く、安定して水道水を作り、送ることができます。

3 神奈川県東部の水道水の約半分は企業団が作った水!

4構成団体の年間給水量
989,305,561m³(平成28年度実績)

4構成団体(自己水源分)
504,210,711m³

企業団 485,094,850m³

4構成団体は、神奈川県東部の各家庭に水道水を送っています。つまり、神奈川県東部の水道水の約半分は企業団が作った水道水です！

4 給水量でも全国トップレベル!

全国順位	用水供給事業体名	年間給水量(千m³)
1	埼玉県	631,360
2	大阪広域水道企業団	516,106
3	神奈川県内広域水道企業団	485,095

給水実績でも、全国屈指の水道用水供給事業体です！
(総務省 平成28年度 地方公営企業年鑑より)



先輩職員インタビュー

現場での工事監督や点検は何より楽しい!



土木

伊勢原浄水場
下村 亮太(平成27年度採用)

平成27年度～ 伊勢原浄水場

【現所属】

- ・修繕、更新工事の設計積算、工事監督
- ・管路設置等の点検
- ・施設管理の新システム検討のプロジェクトにも従事

県民の皆さん的生活を支えていると実感する



設備

相模原浄水場
加藤 順(平成27年度採用)

平成30年度～ 相模原浄水場

【現所属】

- ・設備の点検、整備や設備工事の設計・監督業務に従事
- 平成27年度～ 水運用センター
- ・管理室で水運用(給水量予測や浄水処理量などのコントロール)の業務を経験

事業規模が大きいので、多様な仕事を経験することができます。わずかなミスで水道水の供給に影響を与えててしまうことがあるので、非常に気を遣う場面もありますが、そういった部分がやりがいにもつながります。

多くの業務の中でも、現場に出て実際にものを見ることができます。わざわざ工事監督や設備の点検は、机の上ではわからない多くのことを学べるので本当に楽しいです。

経験を積んで、自分で様々なことを判断できるようになって、自分の強みを見つけていきたいと思っています。凄い先輩が多いので早く追いつきたいです。

皆さんへのメッセージ

普通の人は見ることができない、水道に特有の施設の建設や維持管理に携わることができる面白い仕事だと思います。

水道施設のための建築は思ったよりも奥深い!



建築

施設課 施設第2係
宮崎 広知(平成26年度採用)

平成26年度～ 施設課

【現所属】

- ・主に建築の設計積算、工事監督業務に従事
- ・建築関係の申請業務や手続き
- ・土木工事監督も経験

施設課で建築工事や土木工事の設計と監督業務を行っています。前職では、住宅の設計や現場監理を行っていましたが、水道のプラント設備のための建物は、住宅とは考え方も違い、思った以上に特殊で非常に奥深いです。しかも公共施設なので、やりがいも感じます。

大きな建築になると設計も大変なのですが、工事監督として実際の施工を現場で見られるのはやはり楽しいですね。

仕事はしっかり管理されているので、プライベートの時間もとれるので、働きやすい環境だと思います。

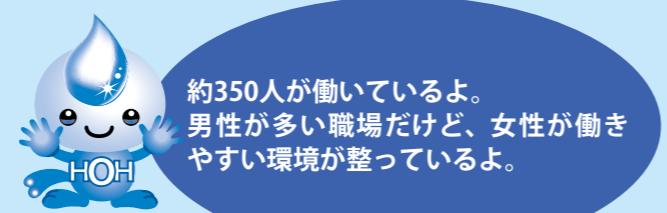
皆さんへのメッセージ

水道についての専門知識がなくとも大丈夫。入団してから周りの先輩からしっかり教えてもらえる環境です。

教えてウォービー



女性の割合は少ないけど、すべての職場で活躍しているよ。女性が働きやすい環境や、制度の整備が進んでいるんだ。土木職や設備職の女性もこの数年で増えてきたんだ。女子トイレや更衣室の更新・新設では、女性職員が設計・工事監督を行ったものもあるよ。



先輩職員インタビュー

災害・水質事故対応は自然相手の大変さを感じる



水質

広域水質管理センター
赤坂 麻衣(平成28年度採用)

平成28年度～ 広域水質管理センター

【現所属】

- ・平成28～29年度は水質管理担当として、水質データ管理や精度管理に関する業務を経験
- ・現在は有機物担当、主に河川や湖の水、浄水処理水の水質検査等に従事

浄水場で処理した水や、水道水の材料となる河川水の水質検査と、検査で使用する機器類の管理を担当しています。また、水道水の品質向上のための調査研究にも取り組んでいます。

夜間に水質事故や豪雨による洪水などが発生すると、時間を問わず職場に出勤して、明朝まで対応することもあります。雨や河川など、自然を相手にすることの大変さと、水道に携わる者としての責任を感じます。

水道インフラを支える仕事で、自分の業務が直接県民の皆さんに還元されるので、やりがいも大きいです。

皆さんへのメッセージ

やる気次第で様々なことにも挑戦できます。業務を通じて、徐々に知識や技術を身に付けながら、一緒に水道インフラを支えていきましょう。

多くの職員と作り上げた広報イベントは楽しかった



行政

財務課 経理係

森山 潤(平成26年度採用)

平成30年度～ 財務課

【現所属】

- ・経理係で支払の確認や決算、例月出納検査などの業務に従事
- 平成26年度～ 総務課
- ・平成26～27年度は人事・労務係
- ・平成28～29年度は総務・広報係
- ・総務・広報係では、イベントの企画・運営や、広報誌の企画・構成、議会運営補助など幅広く

入団してからの4年間は総務課、現在は財務課経理係で支払いの確認や、決算、例月出納検査などの業務に携わっています。経理は初めてで苦労していますが、徐々に慣れてきました。

総務課では、総務・広報を2年間担当し、「みずきフェスタ」というイベントの企画・運営や、スタンプラリーの企画・運営、広報誌の企画・構成を行ってきました。

広報の業務は、様々な職員と協力するとしても楽しく印象深い仕事でした。県民・市民の皆さんに水道の大切さを伝えられたときには達成感を感じました。

皆さんへのメッセージ

企業団に入ってから積極的に学ぶ姿勢が大切です。少しずつ知識を身につけていきましょう。私たちが力になります。

後輩に色々な仕事を教えられる先輩になりたい



設備

飯泉取水管理事務所

柴田 哲(平成26年度採用)

平成30年度～ 飯泉取水管理事務所

【現所属】

- ・取水施設の運転管理、設備の保守点検業務に従事
- 平成26年度～ 西長沢浄水場
- ・水質計器や機械設備の保守点検の他、設備更新の設計や監督業務
- ・平成28～29年度は管理室で浄水場の運転業務を経験

入団してから4年間は浄水場で、設備の修繕工事の担当や浄水場の運転管理の業務を行っていました。今年度から取水管理事務所で川の水位や取水量をコントロールする運転管理や、機械設備の保守を行っています。

洪水時のゲート操作など、浄水場には多くの業務が多く先輩に教わりながら一から勉強しています。

企業団の上司や先輩は非常に面倒見が良く、わからない点も一つ一つ教えてくれます。自分もそのような先輩になりたいと思っています。まずは日々の業務を確実にこなして、スキルアップを図っていきたいと思います。

皆さんへのメッセージ

専門知識など、不安に思う人も多いと思いますが、優しく教えてくれる先輩がたくさんいるので心配しないでください。

新規採用職員座談会

水道への熱意を持って共に働くこと
ができるのを楽しみにしています！

【平成30年度採用】

しのはら・まりこ：行政職／総務課
企業団の事業内容を広く知つてもらうため広報活動に取り組む傍ら、業務の円滑な遂行のため幅広い庶務を担当している。

わたなべ・たかひろ：設備職（電気）／相模原浄水場
生命に関わる水を止めることがないよう、場内設備の点検・維持管理業務や設計施工、工事監督を行っている。

しんや・あおい：水質職（化学）／広域水質管理センター
水道水の品質管理のため、相模川水系に生息する生物の監視や水源事故対応、水質管理に係る調査研究に励む。



新谷 葵 渡邊 貴裕 篠原 まり子

一はじめに、皆さんに企業団を志望した理由を教えてください。

篠原 企業団の説明会で総務・広報業務についてのお話を聞き、私も行政職員・技術職員・構成団体・水道利用者等をつなぐパイプラインとして働きたいと思いました。また、説明会でお会いした職員の対応が親切かつ熱心だったこともあり、企業団の受験を決意しました。

渡邊 前職では、数ある事業の中で水道に関する商品の営業をしていましたが、その際に、水道を経営・管理するには法律・土木等様々な知識が必要であることを知りました。私も水道事業に携わる職員のように、幅広い知識を持ち信頼される職員になりたいと思い、水道専門である企業団を志望しました。

新谷 前職の臨床検査業務において、生活用水を学ぶ機会がありました。そこで、全ての人にとって必要不可欠であり、病気の方だけでなく、より多くの人々に対して貢献できる水道水に興味を持ったことが、転職の動機となりました。その中でも、水道だけに専念して仕事ができ、規模が大きく多くの経験ができる企業団を志望しました。

一試験勉強や面接等、公務員試験・就職活動において意識していたことはありますか。

篠原 面接試験に臨むにあたり、自分自身についてよく知ることが大切だと考え、これまで経験してきたことを振り返り、また未来を想像しながら、「何をやりたいか」「将来はどのようになりたいか」を整理しました。その上で、実際の面接では、普段の会話を意識して話しました。

渡邊 とにかく水道に関する仕事をした



かったので、転職先を探す際は、水道を専門に取り扱う職場にこだわりました。前職を続けながら転職活動をしていたので、仕事終わりに時間を作り、市販の参考書・問題集を使って独学で勉強していました。面接では、前職で培った経験やスキルをもとに、自信をもって話をすることを心掛けました。

新谷 公務員試験は幅広く出題されるので、傾向を掴むために通信教育を用いて勉強をしました。面接対策については、口下手でアドリブが利く方ではなかったので、今までの自分の行動をまとめ、一般的によく聞かれる質問については入念に準備をしました。想定外の質問については、素直に答えるようにしました。

一実際に業務に従事してみて、やりがいを感じたこと、大変だったこと等はありますか。

篠原 総務課の予算の取りまとめが大変でした。各係でどのような仕事があるのかも分からず、どのようにとりまとめれば良いのか全く分からず、並べるだけでも苦労しましたが、この仕事を通じて総務課の仕事の意義や役割を学ぶことができ、大きな充実感がありました。

渡邊 水道は、必要な知識の多種多様さや、社会に対する重大性から、一生をかけて取り組むことのできる仕事です。水道への熱意がある皆さんと同じ想いを持って、共に仕事ができる日を楽しみにしています！

新谷 何事も「挑戦」することが大切だと思います。様々な環境に身を置き見聞を広めることができます。やりたい仕事の明確化・再発見や、自己分析につながります。仕事は人生の時間の大半を占めるものなので、挑戦していくことが今後の人生を豊かにすると思います。気負いすぎず、チャレンジ精神で公務員試験・就職活動に臨み、その中で企業団を選んでいただけたら嬉しく思います。

求める人材と研修制度

求める人材

水需要の減少や経年化した施設の更新・耐震化等、企業団を取り巻く環境は厳しさを増しています。これらの課題を的確に捉え、時代の変化に柔軟に対応できる方を求めていきます。

様々なことに意欲的に取り組み成長し続けることができる方

水道に特化した環境で必要な知識・技術・技能を着実に身に付けることができる方

自分だけでなく周りの職員と協力して仕事を進めることができる方

研修制度

自らの能力を最大限発揮することができ、より高い能力と意欲を持った職員を育成するため、研修制度の充実を図っています。

企業団研修

企業団職員として働いていく上で必要な知識・技術・技能の向上を目的として実施しています。経験年数で区分された階層や能力に応じた人材育成を行っています。

- ・企業団研究発表会
- ・職員提案型調査出張
- ・新規採用職員研修
- ・新任監督者研修 等

部課研修

各所属の実務に直結する専門的知識・技術等に関する研修を実施しています。講義・グループワーク・実技演習を通して、課題解決力や危機対応力の向上、業務知識の共有等を行っています。

- ・企業団水道ビジョンと水質管理
- ・水道施設の電気機械設備概論
- ・工事契約手続きの基礎
- ・水運用を考える 等

派遣研修

外部の研修機関に派遣し、より高度な専門知識及び実務遂行能力の向上を目的として実施しています。職員が業務内容や自分の能力に合わせて受講できるよう、幅広く多様な研修の計画を行っています。

- ・水道基礎講座
- ・広報企画研修
- ・水道工学研修
- ・財務事務研修 等

職場研修(OJT)

上司・先輩が部下・後輩に対し、業務を通じて又は業務に関連させながら、職務を遂行していく上で必要な知識や技術を計画的に指導しています。職場研修を活用し、技術やノウハウの継承を図っています。

資格取得支援

業務に係る資格取得のための講習会参加や受験支援を行っています。



求められる職員像

職員は「安全で良質な水道水を送り続けるトップレベルの広域水道」を実現するため、日々の業務に励んでいます。私たちと共に、神奈川県の命の水を支えていきましょう。

広域水道の使命感を持ち、目標に向かって自発的に行動する職員

質の高い水道スキルを身につけ、発揮し、成長し続ける職員

相互に努力し、困難な課題にも取り組み、解決できる職員

勤務条件

職員の身分

地方公務員(地方公営企業職員)となります。

初任給(平成31年4月1日現在)

採用試験の種類	初任給(給料+地域手当)
大学卒程度採用試験	210,600円
高校卒程度採用試験	172,125円

それぞれの新規学卒者を例に取ったもので、職務経歴等のある場合は、一定の基準で加算されます。

手当

民間企業のボーナスに相当する期末・勤勉手当が支給されるほか、職員の家族状況や勤務形態により、扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当等の諸手当が支給されます。

勤務時間

8:30～17:15 (12:00～13:00は休憩時間)

週休日

土・日曜日、祝日・年末年始

※交替制勤務職員は、夜勤があり、勤務サイクルに基づいて勤務時間が割り振られます。一週間あたり、2日の週休日が確保されています。

交替制勤務の勤務サイクル：日勤務→日勤務→夜勤務→夜勤務→明勤務→公休

休暇

年間20日の年次有給休暇のほか、5日間の夏季休暇、療養休暇、出産休暇、育児休暇、子の看護休暇、忌引休暇、慶弔休暇、介護休暇等があります。

平成29年度実績

年次休暇 夏季休暇 最大5日
平均取得日数 **15.3日** 平均取得日数 **4.9日**

働くときは働き、休むときは休む。
メリハリのある職場だよ。



当企業団では、健康管理最高責任者「CHO (Chief Health Officer)」を定め、健康経営に取り組む「CHO構想推進事業所」として神奈川県に登録されています。

主な育児支援制度

出産休暇	産前休暇、産後休暇を合わせて16週間以内の必要な日数の休暇を取得することができます。
育児参加休暇	妻の出産の産前8週及び産後8週の期間内に、男性職員が当該出産にかかる子又は小学校就学の始期に達するまでの子の監護をする場合、5日以内の休暇を取得することができます。
育児休暇	職員が生後1年5ヶ月に達しない子を育てる場合、1日2回それぞれ45分、又は1日1回90分の休暇を取得することができます。
育児休業・部分休業	職員が3歳に満たない子を養育する場合、休業することができます。また、小学校就学の始期に達するまでの子を養育する場合、始業・終業時刻に接する1日2時間以内の時間を休業することができます。
子の看護休暇	中学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員が、その子の看護のために年5日程度の休暇を取得することができます(対象となる子が2人以上の場合は年10日以内)。

※この他にも、妻の出産に係る特別休暇や、育児短時間勤務といった制度があります。

我が家は共働きなので、子育ても夫婦での協力が欠かせません。妻の出産前後に取得した休暇や、妻が出産後に実家から戻った際の育児休業により、妻を支えることができたと思います。また、子どもの急な発熱の際は、休暇を取得し看病しています。

(30代 事務職 男性)

育児参加休暇については子の出生後、子の看護休暇については、子の風邪等の看護が必要な際に利用しました。制度があることで、家族のために気兼ねなく時間を使うことができました。

(40代 土木職 男性)

第2子出産のため支援制度を約45日利用しました。職場の理解があり、取得しやすい環境でしたので、夫婦で相談しながら時間に余裕をもって一緒に子育てができ、子どもの成長を見る時間ができてよかったです。

(40代 設備職 男性)



育児支援制度利用者の声

平成29年度実績

育児(部分)休業
取得率
100%

※取得率=取得者/申請者

子の看護休暇
申請者の平均取得日数
4.1日

4人の子どもに恵まれ奮闘中です。仲間たちの理解のもと、可能な制度はほぼ全て使ってます。あとに続く後輩たちへのサポートで恩返しとします。

(40代 水質職 男性)

初めての子どもで、妻が日中一人での育児を不安に思っていたため、育児休業制度を利用しました。育児に関して右も左も分からず状態でしたが、夫婦でしっかり話し合いをしながら協力して子育てができたことは、かけがえのない経験になりました。

(30代 土木職 男性)

私は子どもがインフルエンザに感染した際に子の看護休暇を取得しました。5日間の休養が必要ですがこの制度を利用したことにより、その年の年次休暇を有意義に取得することができました。

(40代 事務職 女性)